

ともに生きる

2000年4月号
第6号
4月1日発行

発行所
社会福祉法人
寿 老 園
老人ホーム
広島市東区山根町38-23
発行責任者 武村 浩司
電 話 (082)263-3841
1999年(平成11年)4月1日創刊

いよいよ介護保険 がスタートしました。

今までに様々な形でこの制度が紹介されましたが、ご理解できましたでしょうか。ここで介護保険の例を一つ紹介したいと思います。



自立生活をしていた75才のAさんが不注意で転んでしまいました。

お医者様に見ていただいた所、捻挫ということでした。

しかし、幸いにも自宅で安静をとる事でしたが、たちまち生活するのに困ります。



子供達は遠くに住んでおり頼ることができません。

そこで思案の

結果区役

所の介護

保険室へ

相談する

ことにし

ました。

直ちに

ケアマネ

ージャーが

訪ねてきて

Aさんは85項目の調査を受けました。

本来、調査を受け認定結果が出て(二ヶ月程

度)サービス計画書を作成しないと介護保

険によるサービスを受ける事ができません。

しかし、今回のように緊急を要する場合に

は先にサービスを受ける事もできます。

※いったん費用は全額を自己負担し、認定後

自己負担額を除いた金額が返ってきます。



これで安心ね!



ただし、介護によりサービスの提供に制限がありますので超過した額は自己負担になります。担当のケアマネージャーに何でも相談して調整して頂きましょう。

介護保険と医療保険 の違いとは?

介護保険と名が付いていますが、医療保険とは少しルールが違います。医療保険の場合は、保険証を持って病院や医院に行くとその時直ちに診療を受けることができます。しかし介護保険の場合は、保険証が手元にあってもすぐにサービスを受けることはできません。(緊急時を除く)

まずケアマネージャーに調査してもらいサービス量(要介護区分)を認定した後からサービス利用が可能になります。



2月3・4日に吉和村の潮原温泉に利用者9名、職員3名で泊旅行へ行きました。朝10時にバスに乗り、いざ出発。1時間30分かけて目的地の潮原温泉へ到着しました。さすがに県北ということもあり、外の寒さに全員震えあがりました。

いい湯
だなあ～



極楽

極楽

しかし、建物の中に入ると、外の寒さもふき飛ぶほどの暖かいおもてなしが待っていました。支配人より「今日は遠い所ようこそおいで下さいました。ゆつくりとお過ごし下さい。」との言葉に、利用者「同車での疲れが一気に吹き飛び「二日間お願いします」との元気良い返事を皆さん口々に言われていました。昼食を食べ休けいた後いよいよ今日のメインイベントの温泉です。景色の良く見える露天風呂、マッサージ効果のある泡風呂、打たせ湯、各自の思い思いの時間を過ごされました。風呂上がりには、特製の温泉コーヒーを頂きました。

(これは本当においしかった。)

風呂の後には夕食です。今夜のメニューは何とぼたん鍋。これには皆さん大喜び!! 会話もそこそこに食べることに集中し、あつという間にたいらげてしまいました。

口々に「おいしい、おいしい。」との言葉に本当に遠い所へ来た甲斐があったと思いました。夕食後は、さすがに疲れたせいか、夜9時には全員深い眠りに着かれました。

次の日は、朝食を取り、10時に潮原温泉を出発、無事寿老園へ到着しました。



“作ってみよう” 簡単やわらか料理

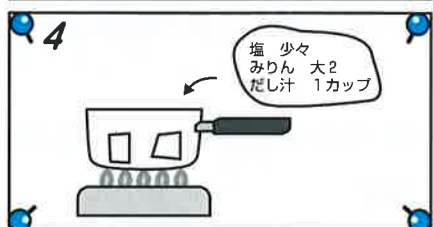
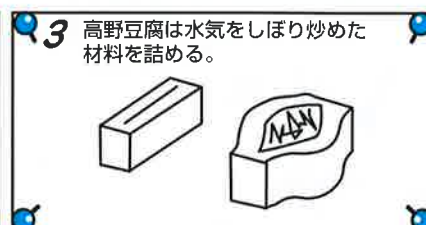
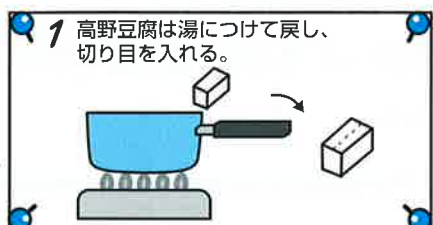
高野豆腐のあんかけ

材 料 (4人分)

●高野豆腐 4枚
●鶏ひき肉 200g
●人参 1/4本
●しいたけ 2枚
●油 大1杯

●片栗粉 小1/2本
●だし汁 1カップ
●しょうゆ 小2杯
●みりん 大2杯
●砂糖 小1杯

(あん) ●だし汁 1カップ
●しょうゆ 小1杯
●塩 少々
●片栗・酒 各大1杯
●糸切り人参・糸切りさやえんどう
・糸切りねぎ 各大1



寿 老 園 マ ラ ソ ン ク ラ ブ

ホーム

3月5日毎年開催されている、マツダコミュニティ駅伝大会に寿老園及び姉妹施設であるレクサイド土師の職員が合同で参加しました。7区間に分かれて総合計19kmを約1時間少々かけて走破をめざします。当日は好天に恵まれ選手9名控え選手込みは、応援21名の声援を受け全力をつくしました。



10時10分に一齐にスタートしマツダの敷地内を走ります。選手一同練習の成果を発揮し、何と86チーム中38位と大健闘を修めました。この大健闘のかけには応援して下さいました一人の声援がありました。区間ごとに応援団が分かれ「がんばれ」との声に各選手、いつも以上の成果を発揮することができました。大会終了後、全員で弁当を食べながら来年はもっと練習し、表彰台にのびたいという希望を皆で誓い合いました。

大会1カ月前から各選手共に仕事時間終了後より地域周辺を走り練習を積み重ねてきました。

在宅介護支援センター

在宅の寝たきりや痴呆などのお年寄りとその家族のために、介護についての相談・福祉・保健サービスの紹介などを24時間体制で行っています

※支援センター専用電話
082-261-4533

寿老園案内図



J R 鉄道

広島駅(新幹線口)下車徒歩20分

郊外線バス

広島駅下車徒歩25分

市内電車

広島駅下車徒歩25分

市内バス

広島府中線新幹線北口バス停下車徒歩20分

広島戸坂東浄線新幹線北口バス停下車徒歩20分

広島バス温品線新幹線北口バス停下車徒歩20分

広島バス寺分線新幹線北口バス停下車徒歩20分

編集後記

いよいよ本日から介護保険がスタートしました。すでにサービス計画に基づいたサービスを受けている方が多いと思いますが、サービスを受ける方にももちろん、介護をする家族の方にも満足のいくサービスを提供していきたいと思っています。

この第6号で私達の編集グループは最後となりますが、次号より新しいメンバーにかわりますのでご期待下さい。



第5回

それゆけ

ボランティア

寿老園には、毎月奉仕布教として浄土真宗本願寺派本願寺広島別院さまより布教使の方を派遣していただいております。

Q きっかけは？

A 車イスやベッドでの生活のため、お寺にお参りにくい方々に法話を聞いていただくと思いました。

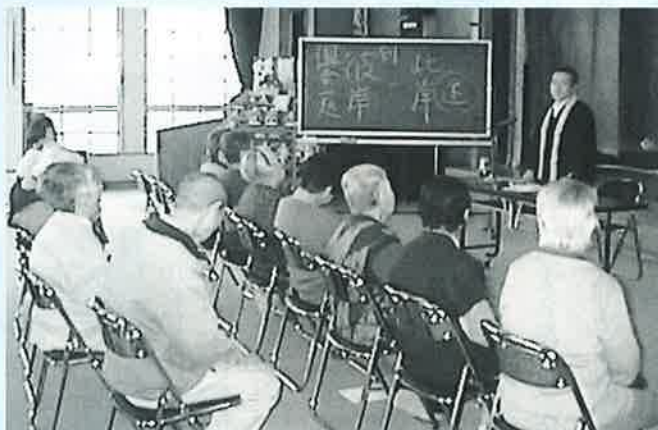
Q 活動内容は？

A 現在広島県内13ヶ所の施設に、毎月法話に伺っています。
3ヶ月交代でいろいろな布教使さんが順番に各施設を訪問しています。

今回は、1月から3月まで奉仕布教として来園していただきました、岡本法治さんをご紹介します。

Q 活動を通じて何か感じる事がありますか？

A 自分が感じたことを話させてもらい、共感してもらえれば良いと思っています。



今後とも寿老園の奉仕布教を引き続きよろしく
お願いいたします。